



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2012年11月5日

報道関係各位

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

## 冬期節電対策について

全道約4万台の缶・PET自動販売機を対象に15%の節電を実施

夏季同様、消費電力削減へ積極的な取組みを継続いたします

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：矢吹健次）は、今年の冬期においても、自主的に節電対策に取り組んでまいります。

当社は、本年の夏季における政府要請の節電目標を達成し北海道電力管内をはじめとする全国的な電力の安定供給に貢献するべく、7月2日より9月30日まで電力使用ピーク時間帯（9時～20時）の自動販売機の冷却機能を一次停止や屋内設置自動販売機の24時間消灯を徹底、工場における稼働時間のシフトなど、自主的な消費電力削減に積極的に取り組んでまいりました。その結果、全社で**15.8%の電力削減を達成**することが出来ました。

今冬においても政府が北海道に対して、12月からのピーク時に2010年度比で7%以上の節電を要請していることから、当社も自動販売機の設置先であるお客様のご理解を前提に、自動販売機を屋内、屋外別にグループ設定し「冷却機能停止」の輪番停止や工場、オフィスでの照明、暖房器具の節電を行い、2013年3月末まで夏季同等の**15%の節電**を目指してまいります。

### 【自動販売機】

屋内、屋外別に2～4グループに分類し、冷却運転輪番停止。

⇒これにより、節電目標15%

### 【輪番節電チャート】

8時	11時	14時	17時	21時
グループ屋内A	グループ屋内B	グループ屋内C	グループ屋内D	
冷却停止	冷却停止	冷却停止	冷却停止	
グループ屋外A		グループ屋外B		
冷却停止		冷却停止		

自動販売機における自主的な節電の取り組みを生活者やカスタマーに広く認知いただけるよう、全国のコカ・コーラシステム共通で、自動販売機に貼るステッカーや、従業員が身につける節電バッジを継続して行ってまいります。



【ステッカー】



【バッジ】

### 【工 場】

- ① 廃水処理設備（ラグーン）のエアレーター運転時間削減による節電
- ② 井戸ポンプの日中運転停止による節電
- ③ ラインオーバーホール 実施時期移行による節電

※ 道内冬の電力需要がピークとなる2月に、オーバーホールを設定することでライン運転による電力の低減を図る。（1月中旬～2月中旬）

その他、オフィスや倉庫内の照明・暖房設備の節電など、省エネ対策を継続してまいります。

当社では北海道民の水分補給ニーズにお応えし、清涼飲料水を安定的にご提供するために、今後も全国的な電力の安定供給に貢献するため、お客様のご理解をいただきながら、節電の取り組みを継続して進めてまいります。

当社は、「変化への挑戦～北の大地とともに～」をスローガンに、環境保全活動を通じて、持続可能で、安全・安心な社会の実現を目指しております。

これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全・安心を守る活動を、事業活動を通じて継続的に推進してまいります。

---

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

広報・CSR推進部 担当：竹内

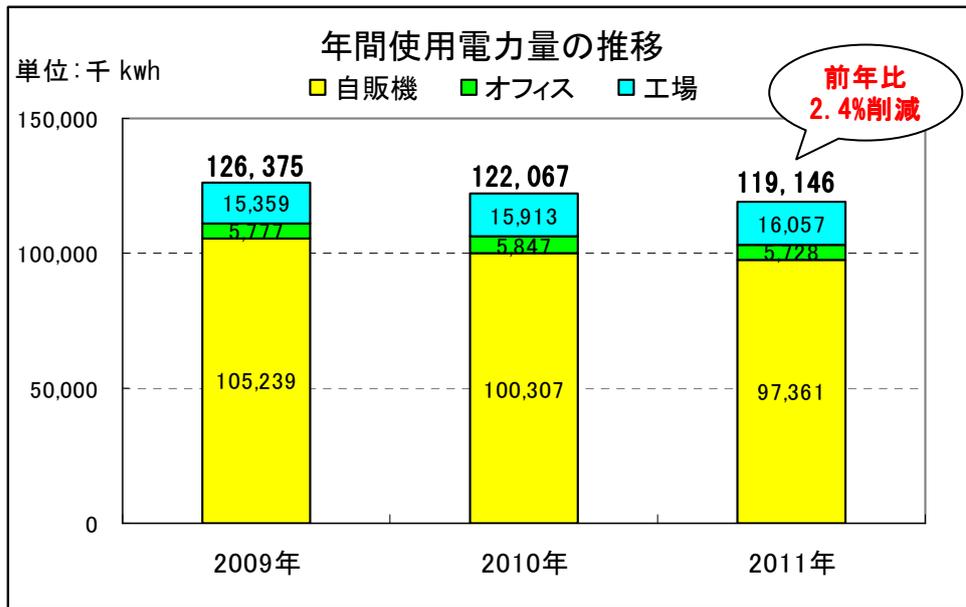
011-888-2091

<参考資料>

1. これまでの省エネ実績

北海道コカ・コーラグループは、事業活動における年間電力量（kwh）を継続的に削減しております。

自動販売機および工場における省エネ化の各種取組みに加え、オフィスでは従来からの温度管理の強化や使用電力の見える化、クールビズ、ウォームビズなどを継続し、一部の事業所ではソーラーパネルを設置しております。あわせて、蛍光灯など省エネタイプの照明器具を用いた節電対策や、従業員用トイレのハンドドライヤーの使用を中止するなど、一貫した省エネ活動を行っております。

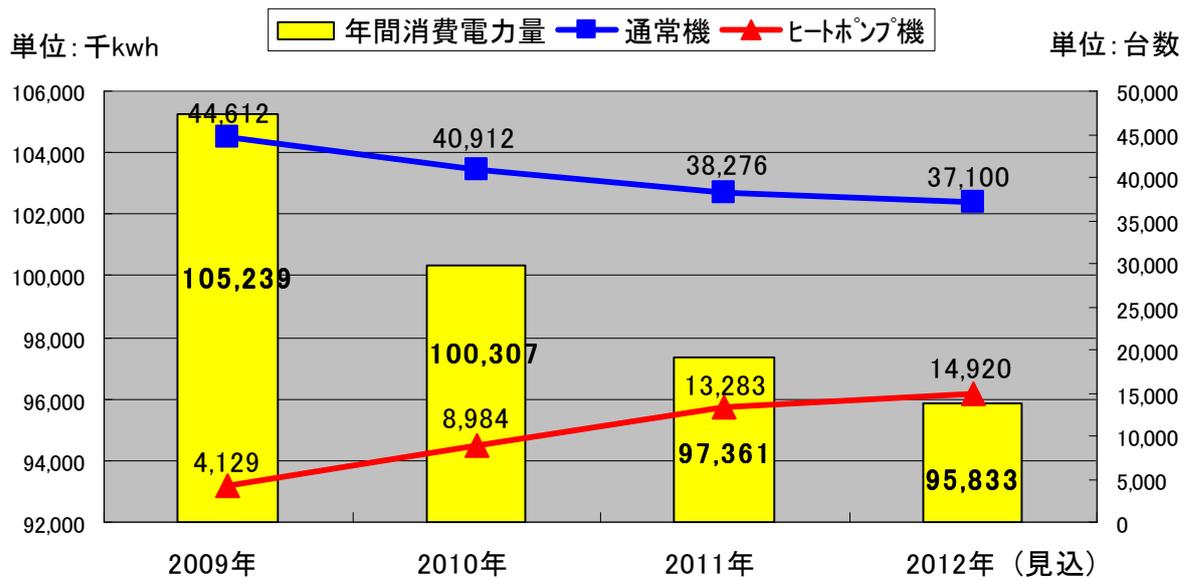


(1) 自動販売機の年間消費電力量（kwh）推移

北海道コカ・コーラグループで保有する約 52,000 台の飲料用自動販売機は、毎年 3～4%の電力量を削減し、省エネ化を進めております。

<缶自販機・カップ自販機の年間消費電力量推移>

		2009年	2010年	2011年	2012年 (見込)
年間消費電力量		105,239 千kwh	100,307 千kwh	97,361 千kwh	95,833 千kwh
(前年増減率)		—	95.3%	97.1%	98.4%
自販機台数		48,741 台	49,896 台	51,559 台	52,020 台
(前年増減率)		—	102.4%	103.3%	100.9%
内訳	通常機	44,612 台	40,912 台	38,276 台	37,100 台
	ノンフロン ヒートポンプ機	4,129 台	8,984 台	13,283 台	14,920 台



- ◆年間消費電力量 (kwh) : 毎年3～4%の電力量削減を実施  
2009年比約10%の消費電力量削減
  - ◆ノンヒートポンプ自販機 : 毎年4,000～4,500台の投入  
ヒートポンプ機以外の機種も各種省エネ機能を搭載
- ※2020年までに全数「ノンヒートポンプ機」へ切替え予定

## 2. 自動販売機の省エネ機能

### (1) ピークカット機能

これは、飲料自動販売機業界の取り組みとして、1995年から実施しています。7月から9月の夏場は冷房需要が急速に拡大し、特に午後1時から午後4時までの時間帯はたくさんの電力が使われていますが、これをピーク時間といいます。そこで、少しでもピーク時間帯における電力使用を抑制するため、7月から9月におけるピーク時間帯電力使用を抑制するため、10時から13時までに自動販売機の冷やしこみを行い、ピーク時間帯に冷却運動をストップすることでピーク時間帯の電力抑制に協力する機能です。現在はほぼ全台に普及しています。

### (2) 学習省エネ機能

自動販売機に内蔵されたコンピュータが、たくさん売れる時間帯とあまり売れない時間を記憶します。その販売傾向※の学習により消費電力を減少させる機能です。この機能は、1998年より導入され、現在はほぼ全台に普及しています。

#### ※販売傾向

例えば「この自動販売機では通常△△時頃には〇〇本くらいの飲み物が売れている」というのが販売傾向です。

この販売傾向から「この自動販売機では△△時頃には〇〇本売れるな」と予測し必要な場所を冷やします。自動販売機全体を常に冷やさないことで省エネとなります。

### **(3) 24 時間消灯**

自動販売機の照明消灯による消費電力削減活動です。照明を消灯するという、わかりやすく、かつ見える省エネ活動は、暮らしの「便利」と同時に環境への「やさしさ」を消費者へ届けることができる、さりげなくて効果の大きいエコ活動です。2008 年から屋内の自動販売機を対象に実施し、屋外はデイライト機能にて夜間のみ点灯しています。

### **(4) その他**

ゾーンクーリング、ヒートポンプ、真空断熱材の採用により、省エネ化技術を取り入れております。

## **3. 自動販売機を活用した様々な社会貢献活動**

### **(1) 地域防災力の強化を支援 “防災協力自動販売機”**

この自販機は、電光掲示板を搭載しており、パソコンからの遠隔操作により文字情報を表示することが可能で、平常時には防災情報や地域情報を配信して、地域住民の防災意識の高揚をはかるとともに、緊急時は災害情報の配信や、同様の遠隔操作により自動販売機内の飲料水の無料提供を行います。

また、行政の地域住民への情報提供サービスの地域防災力を支援しています。

2012 年 3 月時点で道内全 179 自治体と協定を締結し、約 1,100 台の自販機を設置しています。

昨年の震災には、当時防災協定を締結していた約 150 箇所自治体のうち、太平洋沿岸部を中心とした 26 箇所自治体の自動販売機 50 台にて、遠隔操作によるフリーベンド（無料提供：1 万本）を災害日より実施し、被災された方々に飲料水を提供させていただきました。

### **(2) 「道の駅」で地域情報を提供 “おしらせ道ねっと”**

各市町村と国土交通省北海道開発局との協働で道の駅などにおける新たな情報提供事業として、道路利用者の方々に道路情報や地域情報を配信するほか、災害発生時には自治体の判断で自動販売機内の飲料を無料提供しています。

2012 年 4 月時点で、108 台の自販機を設置しています。

### **(3) 安全・安心な地域づくり 「防犯ほっとインフォメーション」**

北海道警察、並びに地域の警察署と日頃から地域の防犯意識を高め、更なる安全・安心な地域づくりを目指した協働事業として、防犯広報や身近な生活犯罪情報、事件情報などを配信しています。2011 年 3 月時点で全道の警察署 69 署と協定を締結し、約 374 台設置しています。

#### **(4) 自動販売機を見れば住所がわかるステッカー貼付**

昨今の携帯電話の普及により、事件・事故・救急・消防に関して、警察や消防への通報に携帯電話が使用されることが多くなり、ステッカー表示により早期対応と場所確認がスムーズに行われるようになりました。なお、この取組みは自動販売機業界全体の取組みとなっております。

#### **(5) 地元観光地図の掲示**

観光客の現在位置、観光名所が一目でわかる地図を掲示することにより、行きたい場所や地域の特色などを確認することができ、お客様の場所確認が可能です。